



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略 2.0 最前線

戦略は実感へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



☎公共施設経営課 995-1808

民間の力を借りて、 公共施設の価値を向上

市では、公共施設の持続可能な維持管理やサービスの向上を目指し、民間事業者などからアイデアやノウハウを募集する「民間提案制度」に取り組んでいます。従来の発想にとらわれず、民間の力で公共施設をより魅力的に利活用したり、市の運用コストを削減して歳入を確保したりすることが目的です。

一歩ずつ着実な効果を発揮するために

本制度では、多様な施設利活用に取り組む一方、全ての施策が順調なわけではありません。令和6年度は、金銭のほか地域貢献を対価とする公共施設のネーミングライツを募集しましたが、残念ながら応募はなく実現に至りませんでした。しかし市では、民間事業者の皆さんが参加しやすいよう対話を重ねながら、少しずつ活用の輪を広げる工夫を続けています。

実際にカタチになった取り組み

試行錯誤を重ねる中で、具体的な事業化につながる成果も生まれています。

●**公用车広告事業**▶公用车に広告を掲載し、地域企業のPRに役立てるとともに、広告収入を得て運用コスト削減を実現。



●**本庁舎へのデジタルサイネージ設置**▶デジタルサイネージを無償で設置するととも広告収入を確保。

●**本庁舎への広告付き玄関足拭きマット設置**（現在募集中）▶足拭きマットに広告を掲載し、行政コストを削減。

公共施設の有効活用のため新たな試みを継続

公共施設のさらなる有効活用として、市役所敷地内でのキッチンカー出店による実証実験を行っています。来庁者の利便性向上や地域のにぎわい創出などの可能性を検証しています。また、民間事業者との協定で、市の費用負担なく市民体育館や中央公園にEV充電器を設置し、充電インフラ整備を促進しています。

公共施設は、市民の皆さんの大切な財産です。市ではこれからも公共施設マネジメントの効果を高めるよう工夫を重ねていきます。「こんな活用はできないか」といったアイデアなど皆さんからの提案や相談をお待ちしています。

すくすく
成長中!

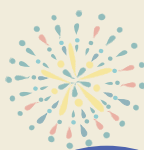
裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■**誕生月の2カ月前までに**右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



すばる
佐藤 昂さん
2歳10カ月
二ツ屋1



なみき
鈴木 波玖さん
2歳5カ月
富沢



わかば
市川 新波さん
2歳2カ月
佐野二



そあ
杉山 想空さん
2歳1カ月
上ヶ田



りん
浅野 凜さん
2歳1カ月
御宿新田



11月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休 館 日／2日(月)・9日(月)・16日(月)・24日(火)・26日(木)・30日(月)



☎鈴木図書館 992-2342 ☎文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

ふじさん

著者：さくら ももこ
出版社：新潮社

「ちびまる子ちゃん」の作者、さくらももこが贈る日常エッセイ集です。家族や友人たちが多数登場する、単行本未収録の25編をたっぷり収録。あとがきには、おなじみのキャラクターたちによる突撃インタビューも！抱腹絶倒間違いなしの一冊です。



児童書

みんな王様

作：ハインツ・ヤーニッシュ
絵：ヴォルフ・エアルブルッフ
訳：真珠 まりこ
出版社：評論社

ちょっと間抜けで偉そうな王さまが、自然や動物たちとの対話を通して、世界は自分の思い通りにはいかないことや、異なる価値観に気付いていく物語です。子どもから大人まで楽しめる、ドイツ発の哲学的絵本です。



行事予定

鈴木図書館

リサイクルブック

時 7日(土)～20日(金)

保存期間の過ぎた雑誌、英字新聞、蔵書とならなかった寄贈本、除籍した図書を無料で譲ります。

出張子育て相談会

時 18日(水) 10時～11時30分

☑ 未就学児とその保護者

☑ 保健師による身体測定、育児相談、栄養相談、歯科相談など

「子育て応援展」

時 28日(水)～11月25日(水)

子育てに関する本や育児に関するエッセイ、親子で読みたい絵本などを展示します。



文化センター図書室

おはなしの会

時 21日(土) 11時～11時40分

親子おはなしの会

時 17日(火)

10時30分～10時50分



人 すそのびと Susonobito No.88

デジタル庁 窓口BPR(業務改革) アドバイザー

中原義人さん 46歳 左
勝又優斗さん 38歳 右
裾野市役所



9月、デジタル大臣直筆署名の感謝状を授与された市役所デジタル統括課主幹 中原義人さんと総合福祉課主席主査 勝又優斗さん。2人の原点は、令和4年の市民課窓口がパンクし、市民の皆さんにご迷惑をかけてしまった苦い経験にあります。この課題を乗り越えるため、最前線で窓口業務の改革を牽引。WEB予約や「書かないワンストップ窓口」の導入で、市民の窓口滞在時間を平均55%も削減させるという大きな成果を上げました。この実績が全国から注目を集め、

令和6年からは2人そろってデジタル庁の窓口BPRアドバイザーに就任。市職員として働きながら中原さん、勝又さんはそれぞれ約20の自治体を支援し、全国で17人に贈られた栄誉ある感謝状の受領となりました。日頃から全国の仲間や国機関と積極的に情報共有をし、外部の知見を貪欲に吸収しては当市へ還流しています。

丁寧な対話を重ねながら組織の協調を生み出し、「データがつながると人がつながる」という信念で挑戦を続けてきたと話す勝又さん。中原さんは「感謝状をいただけたのは、窓口改革に共に取り組み成果を出してくれた職員の皆さんのおかげ。住民サービス向上と職員の業務負担軽減を両立させた市役所運営に注力していきたい」と語ります。「日本一市民目線の市役所」の実現へ向けて2人は走り続けます。

